

いやしの家・安心の里

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	2	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	福祉サービスを通して、地域住民の健康増進に寄与し“お互いに癒し、癒される関係”づくりを目指す運営理念のもとに入居者と職員だけでなく地域住民、家族とも関係を構築し、地域の中でお互いが支えあってその人らしい生活の維持ができるよう心がけてサービスの提供を行っている	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	フロア玄関に理念を掲示、各自の名札の裏に携帯し日々理念の確認をすると共に、ケアプランに反映させ日々実践に取り組んでいる	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関部分に掲示していつでも理念を見ていただけるようにしている。家族会や運営推進会議等で運営方針や理念について伝えると共に、地域に配布している広報誌にも理念や実践に等を紹介し理解していただけるように取り組んでいる	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所に民家は少ないものの、日常的に交流のある学童下校時の見守りや互いに声をかけ合う関係作りはできている	0	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会をはじめ、近隣の小・中学校との交流も密で互いの催しの際は招待や訪問を行い、良好な関係作りができている。公民館での活動にも参加し快い受け入れをしてもらっている。又、体験学習等の場として提供できている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ケアマネジャーを中心として利用者への支援を基盤として、運営推進会議等の場で地域の情報交換をし話し合いをしている。実際に地域の高齢者のサポートもおこなっている	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	1	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日常の業務への評価を受けることに職員全員が誇りを持ち、指摘部分に対しても、速やかに改善に取り組もうとする姿勢が見られている	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では評価の内容を詳細に報告し、意見や案を求め、サービスの向上に活かしている	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所として地域に貢献できるように、広報活動や運営推進会議で町に要請をしたり働きかけているが行き来するまでには至っておらず、共にサービスの質の向上に取り組むまでは関係ができていない	1	更に町の担当者との連携を取りながら関係作りをしていきたい
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	施設内研修として全職員が毎年教育を受け、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度については各フロアに資料も掲示しており活用できるように支援している	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修や資料等の整備がされており学ぶ機会がある。虐待や拘束のないサービスを常に心がけ利用者の十分な観察で異変を見逃さないように日々努めている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては事前の面談や説明により、不安や疑問等が十分な話し合いを重ねることによって少しでも理解・納得していただけるように時間をとっている。納得していただけるまで丁寧に説明や見学をしていただいている	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的に利用者への問いかけを行い、利用者は自由に意見や不満、希望を表現されている。その内容はカンファレンス等で取り上げられケアプランに反映している。外部に出せる機会として運営推進会議にメンバーを固定せずより多くの利用者に参加していただき、意見を表せる場としている	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族面会時、定期的な家族会時にこまめな報告を行っている。利用者の変化が著しい場合は特に経過連絡を密に行っている	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設け、担当者が複数名配置されている。意見箱の設置もあり。定期的な家族会や面会時にも意見の聴取をし、職員会議で検討を行っている	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2回の個別面談を実施すると共に、フロアミーティング時に提案や意見を聞き、全体の会議の場で個々に出た意見を運営に反映させるようにしている	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員が利用者、家族のニーズに対応できるように職員の勤務調整に努めている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者本位に考えた上で、職員の適材適所での異動を心がけ、離職を最小限に抑えられるように、働きやすい職場環境づくりと精神的なサポートをするように努力している	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	1	
	5 人材の 育成と 支援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集や採用にあたっては、性別や年齢等は関係なく、働く意欲があれば採用するようにしている。また職員がいくつになっても働けるように配慮している	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	年に1回は必ず人権教育として職員全体に研修の機会を設けると共に、施設内研修時に常に入居者の人権の尊重を視野に入れたものを実施するようにしている	0	
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は管理者研修、リーダー研修等を経てスタッフ教育のスキルアップを図ると共に、実際の現場で職員が能力を活かせるように年間教育を計画し、研修を実施している。職員の介護経験や入社年次等を勘案して実践者研修や管理者研修、その他の研修を受けてもらいレベルアップを図っている	0	
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会やG・H同士でのつながりを持ち、情報交換やネットワーク作りを行っており、サービスの質の向上につなげている	1	同業者との相互訪問はあまり行っていないため、今後の活動で実施していきたい
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員慰安旅行、忘年会等でストレス発散の場を設けると共に定期的に面談の場を設けて早めに問題の把握と解決をするようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況等を把握し昇格、昇給、賞与等の考課を通じて、向上心を持って働けるように努めている	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりと その対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前から十分に話し合う機会を持ち、不安なことやニーズの把握に努め、どのように対応していくかをその都度明確にし、できるだけ安心して利用していただけるようにしている	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人を含め、家族の抱える不安やニーズを相談から利用に至るまでに十分聴く機会を作り対応し、安心して利用いただけるように努めている	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、その時の状況に応じて本人及び家族が何らかの解決の糸口を見つけることができるように誠心誠意、対応し必要時は他のサービス利用への連絡調整等も実施している	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が入居して安心して生活していけるかに重きを置き、見学や体験利用などを活用し、家族の協力のもと外出や外泊を重ねつつ馴染んでいけるように工夫している	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0		
係り2 継続 これ までの 関係 づく りへの 支援 開く	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護する側、される側という関係ではなく、生活を共にするもの同士、家庭的な雰囲気を特に大切にし、互いを労い、支えあう温かい関係作りができています	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者を中心にし、家族の意見や希望を聞きながらサービスの向上に努めている。利用者の変化に対し、家族、職員が共に一喜一憂を分かち合っている	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	必要時には本人と家族の間に立ち、互いの思いを伝えたり、支援したり、ケースに応じてスムーズな関係となるように支援している	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が望む限り馴染みの方の面会を受け入れ、手紙や電話もできる限りのお手伝いをさせていただいている	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	交流も独りで過ごされるのも自由にしていただいているが、利用者同士が関わりを持ちやすいようにフロアに集いの場を設け、ときには職員が仲介を行っている	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが利用終了しても地域の施設として気軽に立ち寄っていただけるように声をかけると共に、必要時は相談等も対応していけるようにしている	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望を重視し、職員間でも情報の共有をしながら、危険のない限り自由に暮らし方を選択していただいている。困難な場合も本人意向の把握に努めている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族への聴き取り、バックグラウンドやシートの記入をお願いし、これまでの生活歴の把握に努め、できるだけ生活環境の変化が生じないよう配慮している	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常生活の中で十分な観察を行い、ミーティングとカンファレンスにて情報交換を行い、現状の把握に努めている	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の希望を活かし、本人らしく又、より良い生活ができるように日常の様子観察での気づきや工夫をカンファレンスにてもちより、介護計画に反映させている	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のミーティングにて本人の状況を情報交換し、3~6ヶ月の定期的な見直しの他にも必要に応じて変化に伴った変更は随時行える体制を整えている	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	欠かすことなく毎日の様子、身体状況等、記録を行い、職員はそのすべてに目を通し、情報の共有をしている。又、記録をもとに変化や気づきを介護計画の見直しに活かしている	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療関連の受診、買い物、理美容、外出等その他の要望に応じて本人・家族の希望を取り入れ柔軟な支援を行っている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防職員の指導による消防訓練や定期点検の実施、町の文化行事参加、ボランティアの方による催し、小・中学校との教育の場としての交流等互いの協力の上支援できている	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている		1	他のサービス事業の利用は今のところないが介護保険外でのサービスの利用に関しては意向や必要性に応じて支援していきたい
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		1	今のところ地域包括支援センターとの協働はないが、必要に応じて協働していきたい
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の確認や必要な医療の継続について十分な話し合いをし、希望に沿うように主治医を交え支援している。月に2回の往診と年に2回の定期健康診断に加え、必要時は専門科を受診し、適切な医療を受けられるように努めている	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医及び専門医と連携を取りながら往診や受診を通し、日常観察による状況を詳細に報告し細やかな調整を含めた治療を受けることができている	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員が常勤しており、日に複数回の巡回を受け日常の健康管理や医療の活用について相談・指導が密に行われている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院に関わるすべてに家族・病院との連絡・相談の連携が取れており、看護職員の判断をもとに早期の退院でも十分なケアが出来るように準備を整えている	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期についての説明と同意を得ており、日々の変化の報告も密に行われている。医師との関わりの機会も多く、早い段階から家族を交えた相談もこまめに出来ている	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化・終末期においてもすべてを医療任せにするのではなく、かかりつけ医、家族、職員間で十分な相談・検討のうえチームでの取り組みにて支援している	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移住時には、その前後に十分な話し合いが行われ、急激な環境変化によるダメージが生じないように引継ぎを行っている	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	0	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーが守れる様、日常のケアも個別対応を重視している。個人情報の取り扱いも十分な管理体制をとっている	0	
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	決して押し付けとならないよう、本人の意向を重視し自己決定のための説明や手引きを心がけている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に業務中心とならないよう、支援優先の指導が行われ、利用者のペースを守る生活が営まれている	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理・美容に関しては本人・家族との相談の上、外部かボランティアかを自由に選択していただいている。衣服も極力本人の好みで選んで頂き、寒暖の調整等させていただいている	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士の献立をもとに利用者の意見や好みを取り入れ、よりふさわしい食事の提供が出来ており、食事の準備や片づけへの参加も自発的に行われている。又、個々に合った食事形態や配膳の工夫をして、ほとんど残食もない	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	特に制限なく、量や嚙下の管理のもと自由に楽しんでいただいている	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	必要に応じて個々の排泄パターンの記録をし、職員交替時にもスムーズな引継ぎをしながら、失敗のない誘導支援を行っている。安易にオムツや道具に頼らず、個人の力を最大限に利用し、ノーマルな排泄を心がけている	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴以外にも希望に応じてシャワー浴ができる体制になっている。入浴のタイミングは補任の希望に沿い、苦手意識のある方は間を置き声かけの工夫をしながら誘うことが出来ている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間のみに関わらず、一人ひとりが自由に好みの寝具等持込み、いつでも安楽に睡眠が取れるように支援し、日中の適度な活動も心がけた支援を行っている	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人・家族への聴取を基に役割や楽しみをアセスメントし、カンファにて出来ることの情報交換のうえ、ケアプランに反映させている。個々によりふさわしい家事やサークル活動への参加支援も出来ている	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物等の要望に応じ、いつでも金銭を手にする事ができる。小遣い程度を手持ちし、安心されている方もいらっしゃる	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎月、行事として外出している。他にも買い物や散歩を楽しんでいただいている。個々のレベルに応じて移動手段も無理なく行えるように支援している	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	四季折々の景観を楽しめる外出行事を計画し、支援している。家族の協力も得ながら戸外での家族会の実施もできている	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は電話を使用していただき、本人の思いが満たせる様支援している。毎月家族から届く手紙の定期便や時に絵手紙等を通し、交流を楽しんでいただいている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	本人・家族の制限がない限り、面会や訪問を受け入れ、自由に好みの場所で共に過ごしていただいている。又、曜日や時間の制限はなく気兼ねない訪問をされている	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修等を通し、職員全員が身体拘束のない支援に取り組んでおり、拘束をせずに危険防止が出来るよう工夫を検討し合い支援に反映している	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関等の施錠はしていない。居室も本人が施錠しない限りは自由に出入りが出来るようにしている	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	フロア内での見守りは十分に行われており、昼夜を通して常に利用者の所在や様子を把握できている。移動経路の安全確保も日々点検、環境整備を行っている	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険を伴う物品に関しては保管場所を定め、職員の管理を徹底している。利用者の使用希望時には状況に応じ、職員見守りのうえ使用していただいている	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故対策委員会を設け、事故を未然に防ぐ研修を行い、フロアの年間目標にも事故防止を掲げ、職員一体となって取り組んでいる。又事故に至る前に危険情報として「ヒヤリ・ハット報告書」の提出を推進している	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時についての研修が定期的に行われ、フロアの目立つ場所にマニュアルを設置し、救急時の手順も分かりやすく書き出し掲示している。又毎日のミーティング時にも緊急時の対応を確認しあっている	0	
		73 外部 評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防署指導による訓練と定期的な点検を受けている。災害時の職員緊急連絡網も常に更新され、速やかに応援要請が行えるよう準備されている。地域へは運営推進会議にて協力を惜しまない意向を得ている	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	近況報告と共に家族会や面会時にリスクに関する説明を行っている。リスクに関しては家族の理解を得て、抑圧のない暮らしが営めるように努めている	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝の健康チェック時にバイタルサインや表情、顔色、行動等を細かく確認し、異変の兆候がみられた際は速やかに看護師に報告し、相談のうえ、全職員への伝達が行われ、迅速な対応に結び付けている	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬処方の際に目的や用法・用量を確認し、毎日のセット時にも1錠ごとのチェックを行っている。服用時には嚥下に至るまで目を離すことなく確認をしており、変化が見られるときには細かいことも報告に努めている	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	栄養士による効果的な献立を中心に食事の工夫がなされ、こまめな水分提供、健康体操、個々に適した個別体操等、日々便秘予防のための対策が実施されている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後速やかに口腔ケアが実施されており、個人の力に応じ、介助の内容も異なる。義歯についても毎夜預かり、洗浄剤にて使用している	0	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立を基に栄養バランスや適量の指導が行われており、給食委員を通しその管理が徹底されている。又個人の摂取能力に応じふさわしい形態での提供で良好に栄養、水分の確保が出来ている	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	研修にて感染予防等に関して学ぶ機会があり、マニュアルも整備されている。また流行情報や予防接種に関して支援があり、事業所全体で取り組みがなされている	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具の殺菌、消毒はマニュアルに準じて小まめに行い、調理加熱に対してもその都度温度計使用にて管理し、食材も毎日業者配達にて新鮮なものを納品してもらっている。食事は調理より2時間内喫食を徹底している	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にはクリスマスには電飾できるヒマラヤ杉、その根元や扉内外に四季の花を飾り、フロア玄関にも観葉植物や花、季節ごとの装飾を施し、内側には利用者の暮らしが読み取れる写真や作品が迎え入れる	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光についてはカーテンや各種ライトにより微調整を行い、適度な明るさを保っている。時には利用者の好みの音楽を流したり、静かな時間を保ったり、その時々に応じてリラックスできる雰囲気作りをしている。又フロアでは常に季節感あふれる装飾が施されている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアを中心にソファを設置し、それぞれの利用者の体格に合わせた椅子を並べ、自由な時間、自由な場所で過ごしていただいている	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人・家族と相談のうえ使い慣れた寝具、家具の持ち込みをしていただき、レイアウトについても事故要因とならない限りは自由に設置していただいている	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気については各居室、共同スペース、キッチンに設置されている換気システムと数多い窓の開閉により空気のだよみが生じないように小まめに行っており、温度・湿度においても適切な調整が行われている	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	体格、視野、身体機能レベルに応じて出来る限り自立し、自信を持って生活が送れるように、高さ、幅、距離への工夫を行っている。フロア、トイレ、浴室には使用しやすい手摺も整備されている	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入り口前には色分けの柱、扉には表札にて自室の見分けがしやすい様にしている。迷いが生じないよう要所、要所に場所の表示もあり、必要に応じて目印もつけている	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関外の花壇前にベンチが設置され、日光浴や花観賞が楽しめる。冬にはフロアから巨大イルミネーションが観られる。屋上にはプランターによる家庭菜園ができ、外気を浴びて過ごせるテーブルセットが常備されている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。